

茨城県における景気の山・谷の設定について

茨城県政策企画部統計課 企画分析グループ

茨城県統計課では、景気循環の局面判断や各循環における経済活動の比較などのため、「茨城県景気動向指数」の算定に用いる指標をもとに、本県の景気の拡張と後退の転換点である景気の山・谷を設定しています。景気の山・谷は国でも設定しており、令和2年7月30日に、内閣府が平成30年10月を全国の「景気の山」として暫定設定しました。

これを受け、本県でも景気の転換点を算定したところ、平成30年9月に「景気の山」を迎えていたことが明らかとなりました。

今回は、茨城県における景気の山・谷について紹介します。

1 景気循環と景気基準日付（景気の山・谷）

景気は拡張と後退を周期的に繰り返しており、景気の底（「景気の谷」といいます。）から景気が拡張してピーク（「景気の山」といいます。）を迎え、やがて後退して底をつくまでを1循環として考えます。換言すれば、景気の拡張局面から後退局面への転換点が「景気の山」、景気の後退局面から拡張局面への転換点が「景気の谷」であり、景気の谷から次の谷まで（谷→山→谷）が1循環です。

こうした転換点とみなされる時点を「景気基準日付」といい、景気基準日付を設定するということは、景気の山や景気の谷を決めることを意味します。

2 景気基準日付の設定方法

景気動向指数に用いる指標は、実際の景気に遅れて反応する「遅行系列」、実際の景気とほぼ同時に連動する「一致系列」、実際の景気よりも先に反応する「先行系列」の3種類に分類され、景気基準日付の設定で用いられるのは「一致系列」の指標です。

本県の「一致系列」の指標は7系列で、7系列それぞれについて、ブライ・ボッシュン法と呼ばれる手法（山・谷の検出条件を3つ設け、それらを全て満たす期間のうち、系列の数値が最も高い月を景気の山、最も低い月を景気の谷とするもの）により景気の山・谷を検出し、谷の翌月から山の月までを「+」、山の翌月から谷の月までを「-」とします。

■統計の窓

次に、各月のヒストリカルDI（7系列中「+」となった系列の割合のこと。）を計算し、ヒストリカルDIが50%を下回る直前の月を「景気の山」、50%を上回る直前の月を「景気の谷」と定め、景気基準日付を設定します（【表1】ヒストリカルDI変化方向表参照）。

【表1】ヒストリカルDI 変化方向表

| 系列名 年月 | | 一 致 系 列 | | | | | | | 拡張 系列数 （「+」の 系列数） | 採 用 系列数 | ヒストリカル DI (HDI) （拡張系列数 /採用系列数 ×100） | 備考 |
|-----------|-----|-------------------------------|-------------------|--------------------|-----------------------------------|-------------------|--------------------------|------------------------------|----------------------------|------------|---|------|
| | | C1 有効求人数 （学卒パート を除く） | C2 鉱工業 生産指数 | C3 日銀業況 判断DI | C4 百貨店・ スーパー販 売額 （実質） | C5 投資財 出荷指数 | C6 管内輸出入 額 （実質） | C7 所定外労働 時間指数 （全産業） | | | | |
| 平成24年 | 1月 | + | + | + | - | + | + | - | 5 | 7 | 71.4% | |
| | 2月 | + | + | + | - | + | + | - | 5 | 7 | 71.4% | |
| | 3月 | + | - | + | - | + | + | - | 4 | 7 | 57.1% | 景気の山 |
| | 4月 | + | - | - | - | + | + | - | 3 | 7 | 42.9% | |
| | 5月 | + | - | - | - | + | + | - | 3 | 7 | 42.9% | |
| | 6月 | - | - | - | - | + | + | - | 2 | 7 | 28.6% | |
| | 7月 | - | - | - | - | - | + | - | 1 | 7 | 14.3% | |
| | 8月 | - | - | - | - | - | + | - | 1 | 7 | 14.3% | |
| | 9月 | - | - | - | - | - | + | + | 2 | 7 | 28.6% | |
| | 10月 | - | - | - | - | - | + | + | 2 | 7 | 28.6% | |
| | 11月 | - | - | - | - | - | + | + | 2 | 7 | 28.6% | |
| | 12月 | - | - | - | - | - | + | + | 2 | 7 | 28.6% | |
| 平成25年 | 1月 | - | - | - | - | - | + | + | 2 | 7 | 28.6% | |
| | 2月 | - | - | - | - | - | + | + | 2 | 7 | 28.6% | |
| | 3月 | - | + | - | - | - | + | + | 3 | 7 | 42.9% | 景気の谷 |
| | 4月 | - | + | + | - | - | + | + | 4 | 7 | 57.1% | |
| | 5月 | + | + | + | - | + | + | + | 6 | 7 | 85.7% | |
| | 6月 | + | + | + | - | + | + | + | 6 | 7 | 85.7% | |

3 第16循環について

我が国では、戦後16の景気循環を確認しており、茨城県においても、第8循環から第16循環までを確認しています（【表2】茨城県と全国の景気基準日付参照）。

【図1】茨城県景気動向指数（CI一致指数）の推移は、一致系列から算出した「一致指数」のうち、CIと呼ばれる景気の量感を表す指標の推移と直近4循環分の景気基準日付を示したものです。白色の部分が景気の拡張期、灰色の部分が景気の後退期を表しています。

平成24年頃は円高が続き、景気は後退していましたが、政権交代による経済政策の転換や日銀の金融緩和により円安基調となって輸出が伸び、製造業のウエイトが高い茨城県でも平成25年3月を景気の底として、以後回復基調へ転じていきました。第16循環の始まりです。景気の拡張は66か月続き、第14循環の68か月に次いで過去2番目の長さとなりましたが、平成30年9月頃には米中貿易摩擦が強まり、輸出入などに影響が及んだことで、景気は後退期に突入しました。また、消費税が10%に引



き上げられた令和元年10月や、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下にあった令和2年4～5月は、景気の落ち込みが強まっています。

第16循環の景気の谷はまだ判明しておらず、景気の後退が続いている状況です。

【表2】茨城県と全国の景気基準日付

| | 茨 城 県 | | | | | 全 国 | | | | |
|-------|----------|-----------------|----------|--------|----|----------|------------------|----------|--------|----|
| | 谷 | 山 | 谷 | 期間(か月) | | 谷 | 山 | 谷 | 期間(か月) | |
| | | | | 拡張 | 後退 | | | | 拡張 | 後退 |
| 第8循環 | — | 昭和51年7月 | 昭和52年8月 | — | 13 | 昭和50年3月 | 昭和52年1月 | 昭和52年10月 | 22 | 9 |
| 第9循環 | 昭和52年8月 | 昭和55年3月 | 昭和57年10月 | 31 | 31 | 昭和52年10月 | 昭和55年2月 | 昭和58年2月 | 28 | 36 |
| 第10循環 | 昭和57年10月 | 昭和59年10月 | 昭和62年3月 | 24 | 29 | 昭和58年2月 | 昭和60年6月 | 昭和61年11月 | 28 | 17 |
| 第11循環 | 昭和62年3月 | 平成3年5月 | 平成6年1月 | 50 | 32 | 昭和61年11月 | 平成3年2月 | 平成5年10月 | 51 | 32 |
| 第12循環 | 平成6年1月 | 平成9年3月 | 平成11年3月 | 38 | 24 | 平成5年10月 | 平成9年5月 | 平成11年1月 | 43 | 20 |
| 第13循環 | 平成11年3月 | 平成12年12月 | 平成14年4月 | 21 | 16 | 平成11年1月 | 平成12年11月 | 平成14年1月 | 22 | 14 |
| 第14循環 | 平成14年4月 | 平成19年12月 | 平成21年7月 | 68 | 19 | 平成14年1月 | 平成20年2月 | 平成21年3月 | 73 | 13 |
| 第15循環 | 平成21年7月 | 平成24年3月 | 平成25年3月 | 32 | 12 | 平成21年3月 | 平成24年3月 | 平成24年11月 | 36 | 8 |
| 第16循環 | 平成25年3月 | 平成30年9月 (暫定) | — | 66 | — | 平成24年11月 | 平成30年10月 (暫定) | — | 71 | — |

【図1】茨城県景気動向指数（CI一致指数）の推移

